

# 「厚生労働省における政策評価に関する基本計画（第3期）」（案）等 策定のポイント

## 1 最近の状況等

- ・ 実績評価書等の標準様式化や目標管理型政策評価の推進のための事前分析表の作成の動きがあること（参考資料3-1参照）
- ・ 「政策評価に関する有識者会議」を拡充し、3つのワーキンググループ（労働・子育てWG、医療・衛生WG、福祉・年金WG）を設け、実績評価書の意見聴取を行うこと（参考資料2参照）
- ・ 事務事業については、行政事業レビューが行われていること（参考資料5-1、5-2参照）

## 2 見直しのポイント

### （1）政策評価体系の整理等

#### ○ 政策評価体系の基本目標等の並び等

第3期基本計画においては、政策評価と予算との連携を強化するため、政策評価の単位と予算書の項の単位を対応させることとする。また、予算を伴わない組織運営に関連する施策目標については、予算を伴う施策目標の後にまとめて列挙することとした。

（資料2、参考資料6参照）

#### ○ 政策体系の整理（施策小目標の廃止）

従来の政策体系は、基本目標－施策大目標－施策中目標－施策小目標の4層構造となっていたが、総務省の実績評価書の標準様式では施策中目標単位の評価が基本となっている。このため、施策小目標を廃止し、基本目標－施策大目標－施策目標の3層構造に変更する。

（資料2、3、参考資料3-1、3-2、4参照）

### （2）実績評価の効率化・充実化

#### ○ 施策目標ごとの計画（実施計画に規定）の様式の変更

目標管理型の政策評価を推進するため、総務省から、新たに事前分析表の作成が依頼されており、各局の作業負担を軽減する観点からも、当省において従来作成していた施策目標ごとの計画（実施計画別紙）を、総務省が示した事前分析表を一部カスタマズしたものに代えることとする。

（資料3、参考資料3-1、3-2参照）

## ○ メリハリのある政策評価の実施

予算書の項と対応している施策目標については、モニタリング結果報告書を作成するもの又は実績評価書を作成するものに分け、メリハリのある政策評価を実施する。

基本計画期間（5年間）中に全施策目標につき1回は実績評価を行い、有識者会議WGにおいてご意見を頂く。また、評価を行う年の施政方針演説（平成24年は税・社会保障一体改革関連）に関係する重点施策について実績評価書を作成し、ご意見を伺うこととする。（資料3参照）

## ○ 有識者会議WGの開催

「政策評価に関する有識者会議」の3つのWG（労働・子育てWG、医療・衛生WG、福祉・年金WG）において、作成した評価書についてご意見を伺う。（参考資料2参照）

## **(3) 政策評価の簡素合理化**

### ○ 実績評価書等の簡素化

総務省の標準様式を基に、一部カスタマイズした形で、実績評価書の様式を簡素化する。

（参考資料4参照）

### ○ 事務事業の事前評価の廃止

全ての事業について行政事業レビューが行われることから、これまで事前評価を実施していた、予算要求又は財政投融资資金要求を伴う新たな施策で、重点的な施策とするもの又は10億円以上の費用を要することが見込まれるものに対する事前評価を廃止する。

（参考資料5-1、5-2参照）